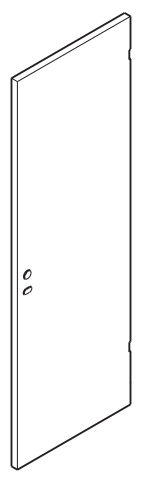
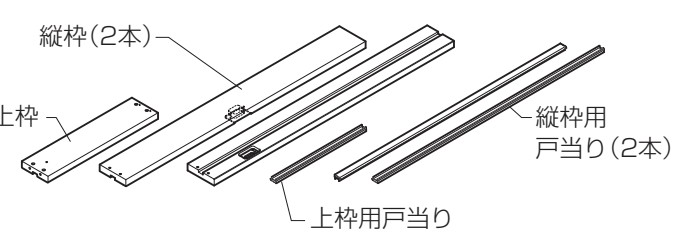
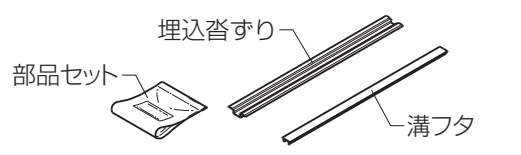
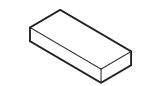
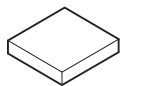
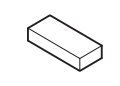


■部品・部材の明細

ドア本体	3方枠		
			
	部品セット 取付け説明書		
	埋込沓すりセット	別売り部品セット	
		丁番セット	ハンドルセット
			
			

※3方枠と下枠はそれぞれ別梱包になっています。

■枠セット明細

	標準ドア	トイレドア
縦 枠	2	2
上 枠	1	1
戸当り	縦2・上1	縦2・上1

■埋込沓すりセット明細

	標準ドア	トイレドア
埋込沓すり	1	1

■ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

■錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

■部品セット明細

標準ドア・トイレドア用

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠・縦枠取付け用DNビス (皿小ねじ) φ3.8×50	9本

■丁番セット明細

本体側丁番 (上)	1個
本体側丁番 (下)	1個
枠側丁番 (上)	1個
枠側丁番 (下)	1個
ブラケットカバー	2個
枠側丁番取付け用 トラス小ねじ M4× 10	8本
本体側丁番取付け用 皿タッピンねじ φ 4× 20	8本
取付け説明書	1部

埋込沓すり用

取付け用なベタッピン ねじφ4×30	3本
-----------------------	----

■取付け範囲(単位:mm)

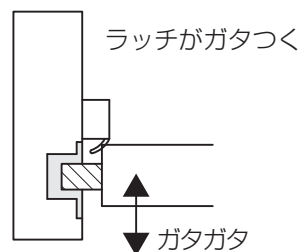
対象壁厚	ノンケーシングタイプ		
	NC95	NC115	NC156
	64~75	76~100	116~130

■本体の調整

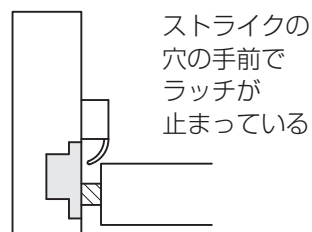
1建付け調整 (ストライクによる調整)

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライクの中でガタつく



■ラッチがかかりにくい



前後調整 (戸先側)

●下記の場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整する。
・ラッチがストライクの中でガタつく
・ラッチがかかりにくい

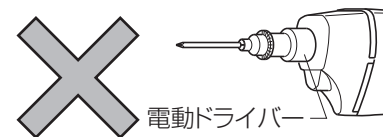
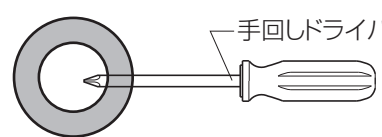
調整可能範囲
前 (3mm)
後 (3mm)

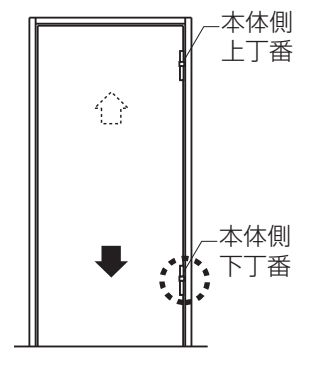
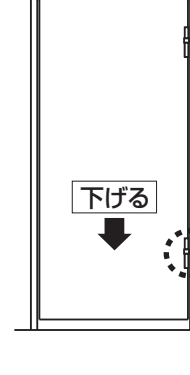
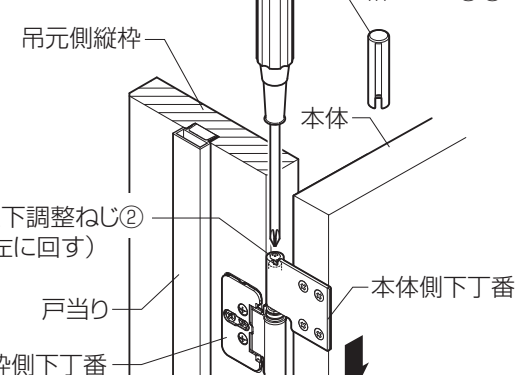
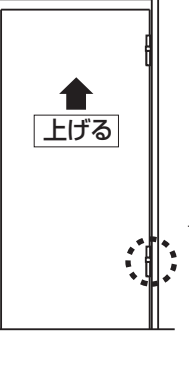
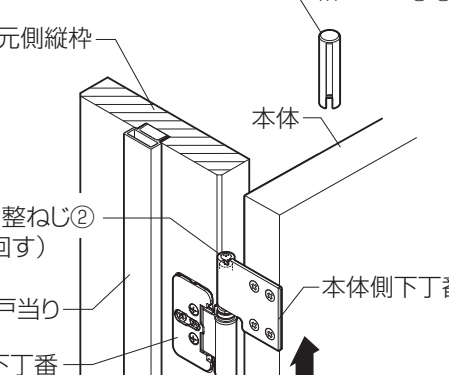


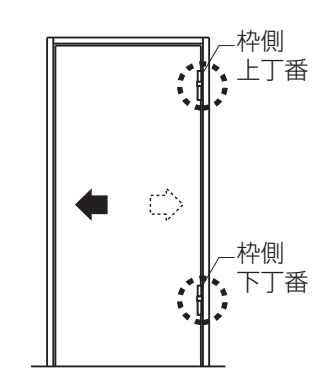
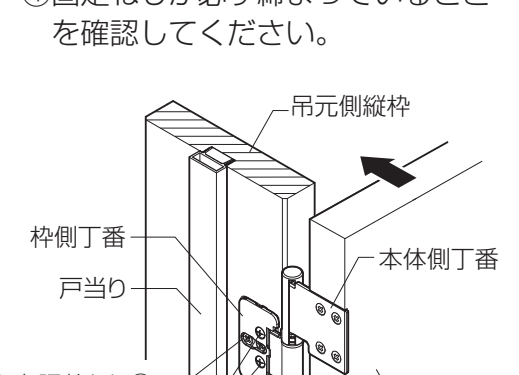
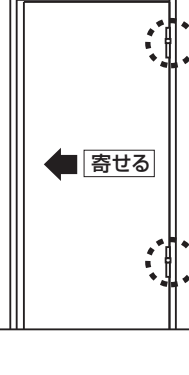
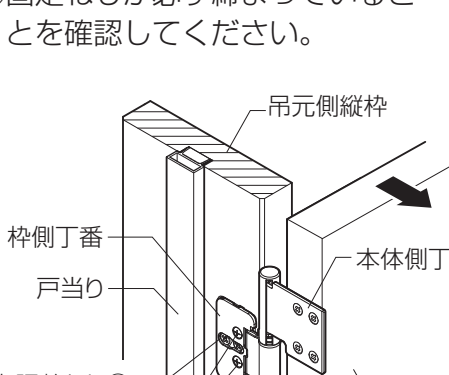
2建付け調整 (丁番による調整)

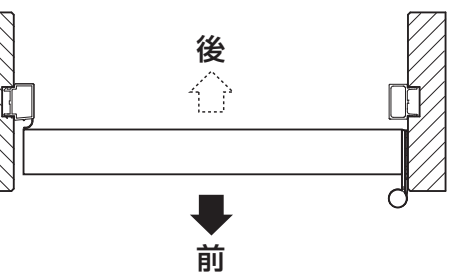
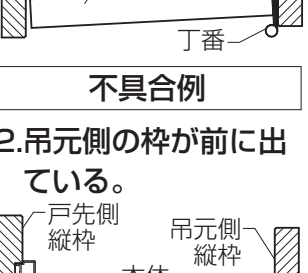
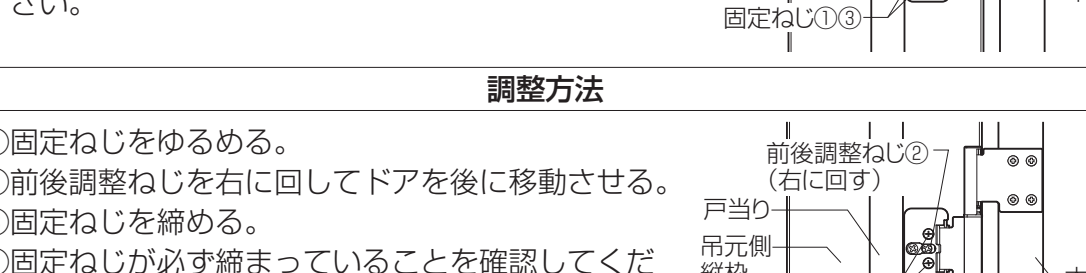
※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。

※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



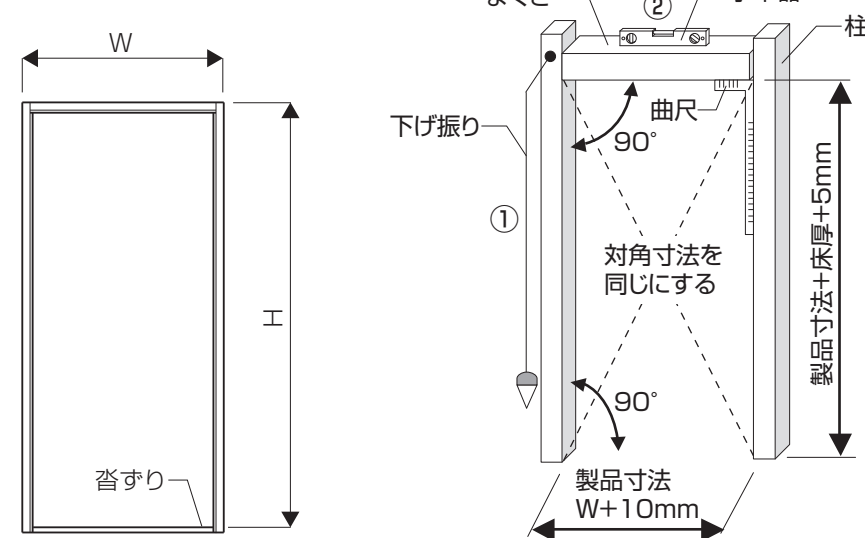
上下の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
●本体側下丁番で調整します。 ●調整幅は、上側に3mm、下側に3mmです。	1.ドアの上部が枠に当たる。	①本体側下丁番の軸力バーを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③軸力バーをはめる。	2.ドアの下部が枠に当たる。	①本体側下丁番の軸力バーを外す。 ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。 ③軸力バーをはめる。
				

左右の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。 ●調整幅は、吊元側に1.5mm、戸先側に2mmです。	1.ドアの戸先側が枠に当たる。	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。 ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。	2.ドアの戸先側のすき間が大きすぎる。	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを左に回してドアを戸先側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。 ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。
				

前後の調整	不具合例	調整方法
●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。 ●調整幅は、前(4mm)、後(1mm)です。	1.戸先側の枠が前に出ている。 2.吊元側の枠が前に出ている。	①固定ねじをゆるめる。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。 ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。
		

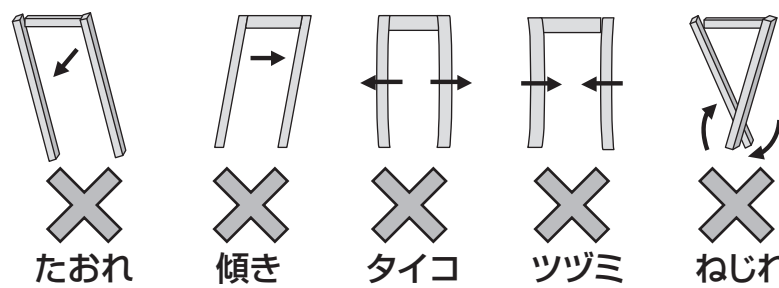
■開口部の作り方

●製品寸法



①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。

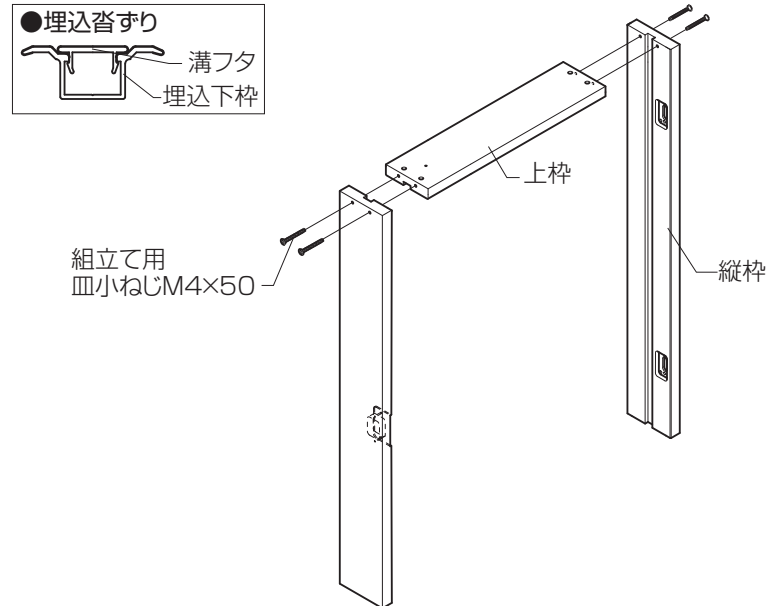


■取付け順序

1枠の組立て

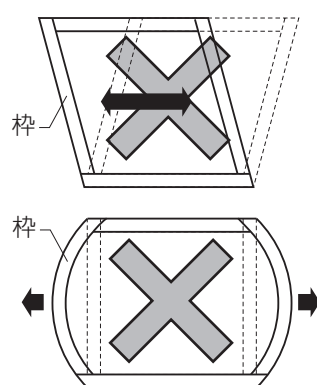
●下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじ (皿小ねじ M4 × 50) で固定します。
※縦枠はカット不要ですのでそのまま組立ててください。

【埋込沓すりを使用する場合】

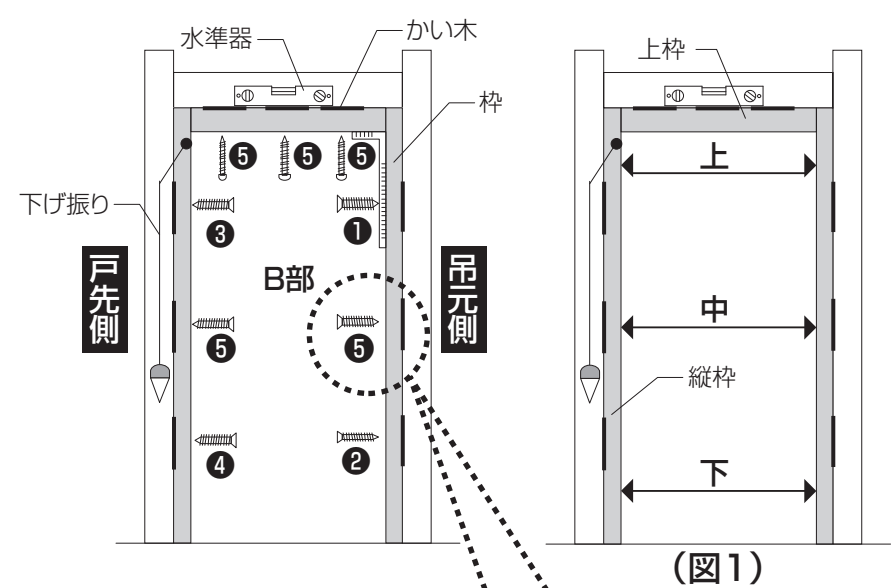


お願い

※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



2 枠の取付け

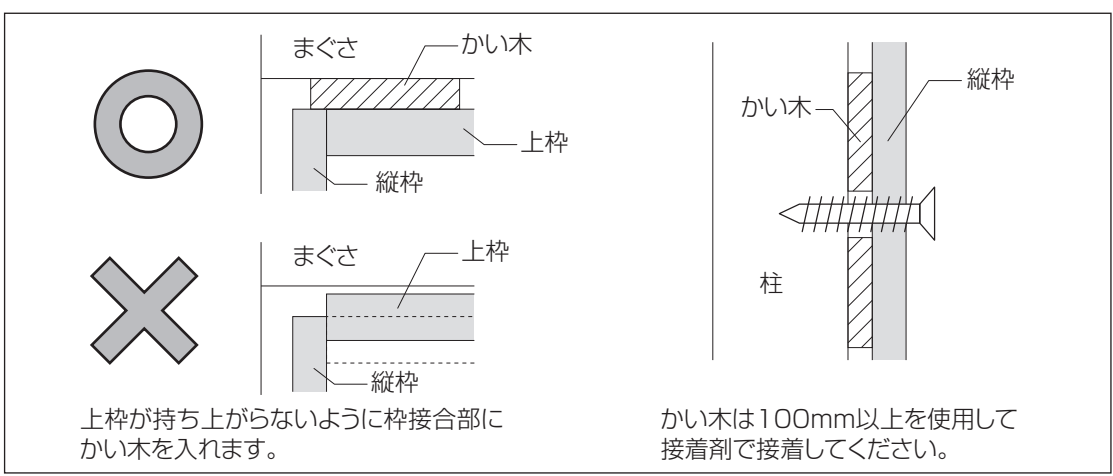
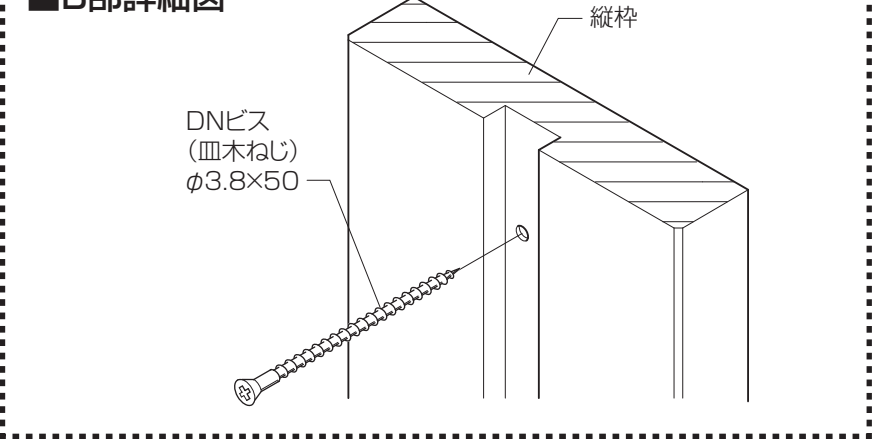


- ① 枠の取付けは同梱のねじ(DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50)で取付けてください。
- ② 枠を開口部にはめ込んで、上枠の水平を確認してから、縦枠(吊元側)の①を仮固定してください。
- ③ 下げ振りを使って垂直・たおれがないことを確認してから、縦枠(吊元側)の②を仮固定してください。
- ④ 水準器で上枠の水平を確認してから縦枠(戸先側)の③を仮固定してください。
- ⑤ 下げ振りを使って垂直・たおれがないことを確認してから、縦枠(戸先側)の④を仮固定してください。
- ⑥ 埋込沓ずりの場合は、埋込沓ずりの固定をしてください。
- ⑦ 枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整し、開口寸法(W寸法)が上・中・下の個所でそろっていることを確認後、仮固定したねじおよび残りの⑤ねじで本固定してください。(図1)

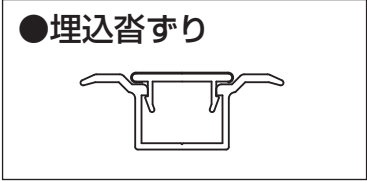
※ 枠に水糸を張るなどして枠が曲がっていないことを必ず確認してください。

お願い
※ 枠のたおれ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。

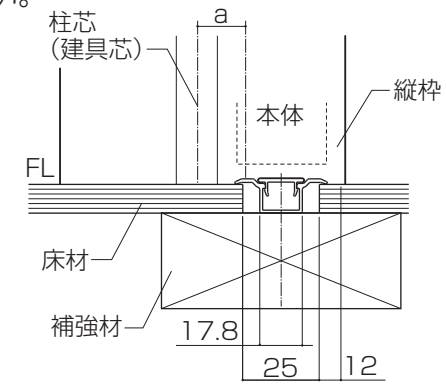
B部詳細図



【埋込沓すりを使用する場合】

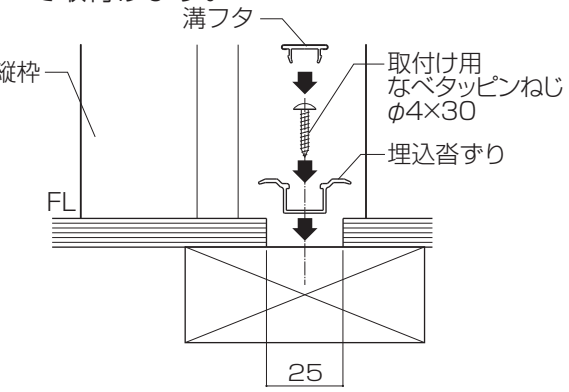


- ① 補強材を必ず入れ、下図の位置に25mm あけて床材を張ります。
※ 躯体に縦枠を仮止めして位置出しをしてください。

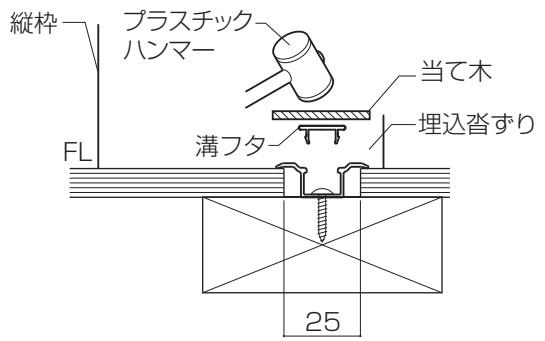


枠機種	NC95	NC115	NC156
a寸法	6	18.5	39

- ② 『3戸当りの取付け』前に埋込沓すりを、同梱のねじ(なベタッピンねじφ4×30)で取付けます。



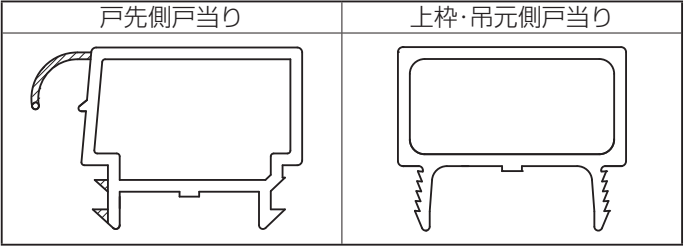
- ③ 当て木をしなが、溝フタが均一になるまでプラスチックハンマーなどでたたき込みます。



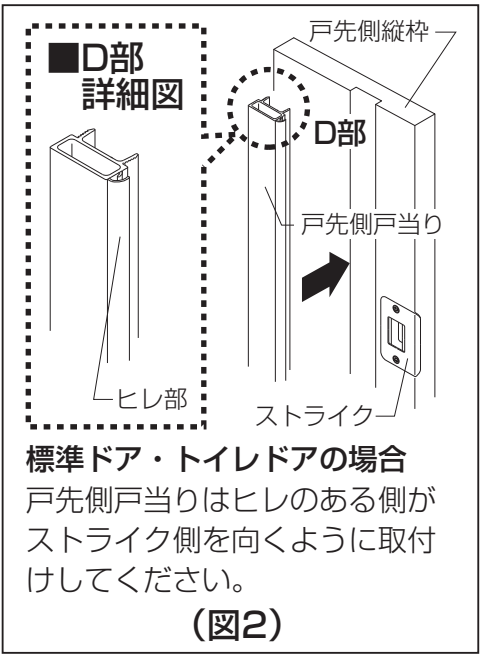
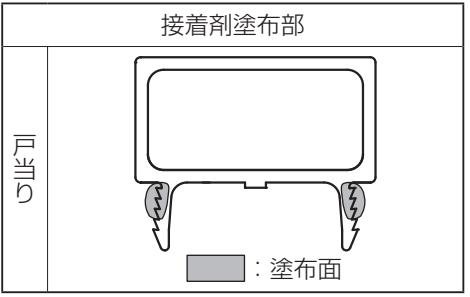
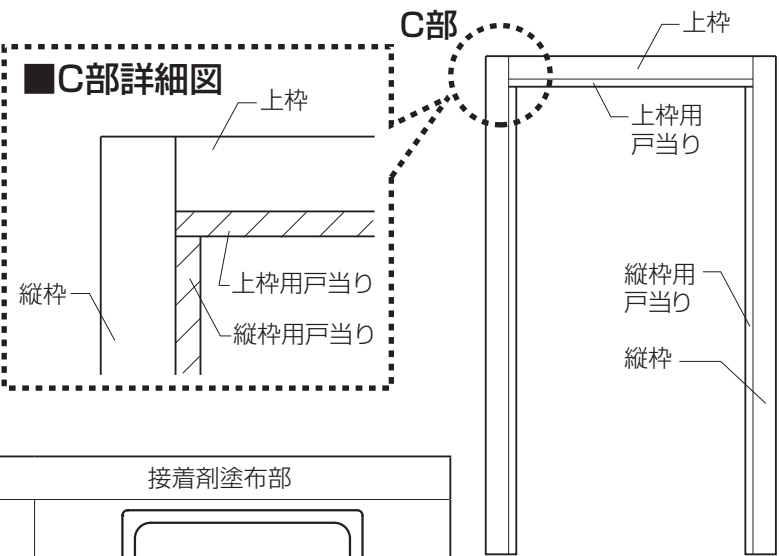
お願い
※ 溝フタは一度はめ込んだら取外さないでください。変形し、再びはめ込むことができなくなります。

3 戸当りの取付け

※ 標準ドア・トイレドアの場合は、戸先側と吊元側で戸当り形状が異なります。事前に確認してから取付けてください。(図2)



- ① 現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
 - ② 戸当りの足の外側(リブのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください(塗布面は右図参照)。接着剤(現場手配)がはみ出した場合は必ずふきとってください。
- ※ 戸当りは、埋込沓すりより後に取付けてください。
※ 上枠用→縦枠用の順に取付けてください。
※ 戸当り切断にあたっては、パッキン側より切断してください。



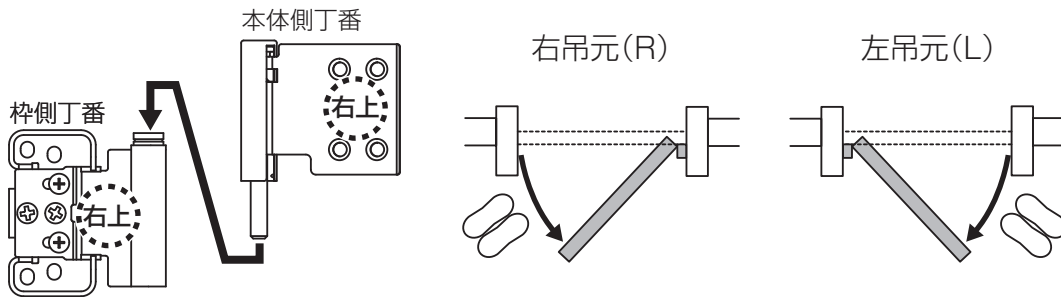
お願い
※ ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

4 ドア本体の取付け

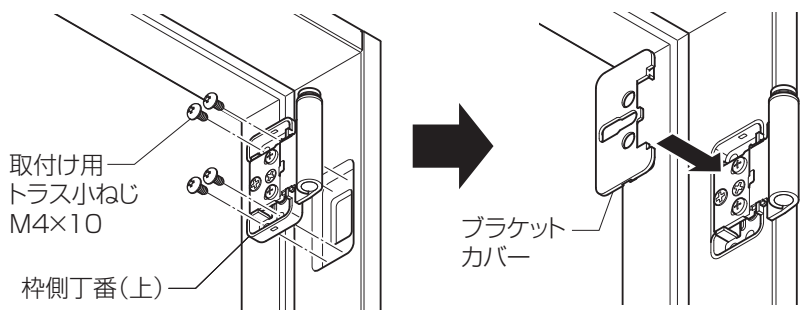
1 枠側丁番の取付け

お願い

- ※丁番取付け前に枠側・本体側羽根の刻印を見て、丁番の上下左右を確認してください。
- ※右吊元には右用丁番、左吊元には左用丁番が取付きます。
- ※本体取付け時には、同じ刻印同士になるように、取付けてください。



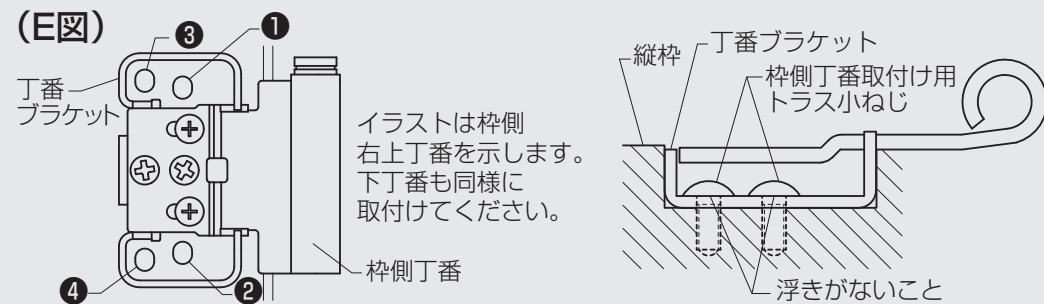
- ①吊元側縦枠に、枠側丁番を同梱のねじ（トラス小ねじ M4 × 10）で取付けます。
- ※その際、右の注意点のとおり取付けてください。
- ②ブラケットカバーを「パチッ」と音がするまでしっかりはめ込みます。



▲注意

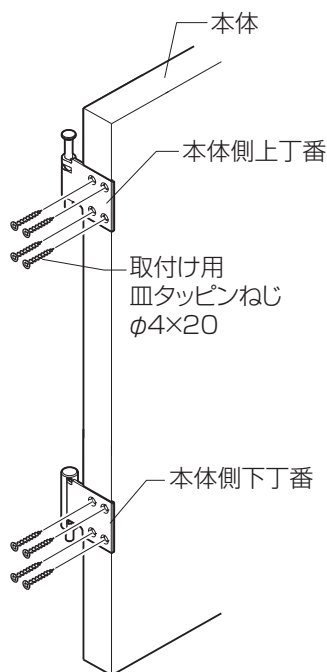
- 枠側丁番のねじを取付ける際は、E図の①～④の順に、ねじが丁番ブラケット面に当たるまで確実に締込んでください。①～④の順に取付けをおこなわないと、丁番傾きの原因となり、取付け後に本体が垂下がり、枠や床を傷つけるおそれがあります。

(E図)



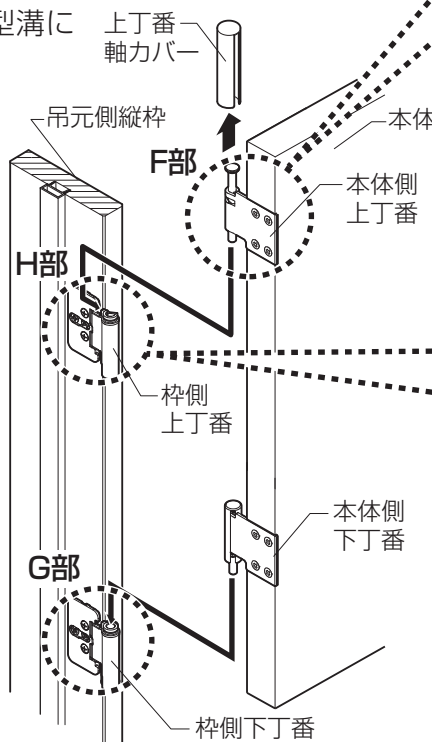
2 本体側丁番の取付け

- ①本体に、本体側丁番を同梱のねじ（皿タッピンねじφ4 × 20）で取付けます。
- ※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、本体の上下を確認してください。

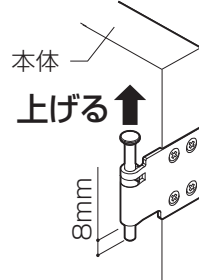


3 ドア本体の取付け

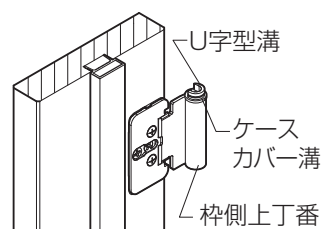
- ①下丁番軸力バーを上げます。
- ②上丁番軸力バーを外してください。
- ③本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(F部)
※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ④本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(G部)
※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑤本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、本体を吊込みます。(H部)
- ⑥本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。(I図)
- ⑦上丁番軸力バーを取付けます。
※枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑧下丁番軸力バーを下げます。
※枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑨本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。



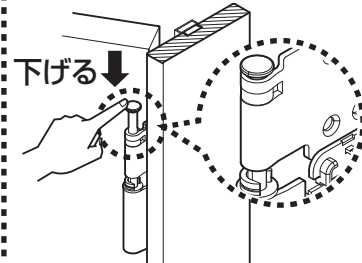
■F部詳細図



■H部詳細図



(I図)

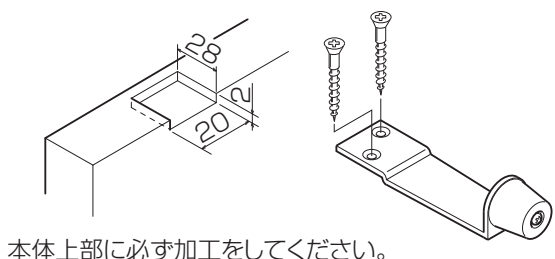


▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。本体脱落の原因につながります。
- 建付け調整(丁番による調整)時、枠側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

5 ドアストッパーの取付け（オプション）

■本体上部取付け用(別売)



【本体取付け用ドアストッパーおよび、キャッチの取付け範囲】

- 《市販のドアストッパーを取付けする場合》
- ※下図の斜線範囲内にドアストッパー本体または、キャッチを取付けてください。
 - (他の箇所は芯材が入っていないため取付けできません。)
 - ※取付けにあたっては、下穴をあけて手回しで固定してください。電動ドライバーなどの電動工具で締付けると、空回りすることがあります。

